

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2021年 4月29日

那覇市 市長 殿



提出者

住 所 沖縄県那覇市字銘苅183番地

氏 名 株式会社 山城生コンクリート工業 那覇工場

代表取締役 山城 正和

電話番号 098-863-8918

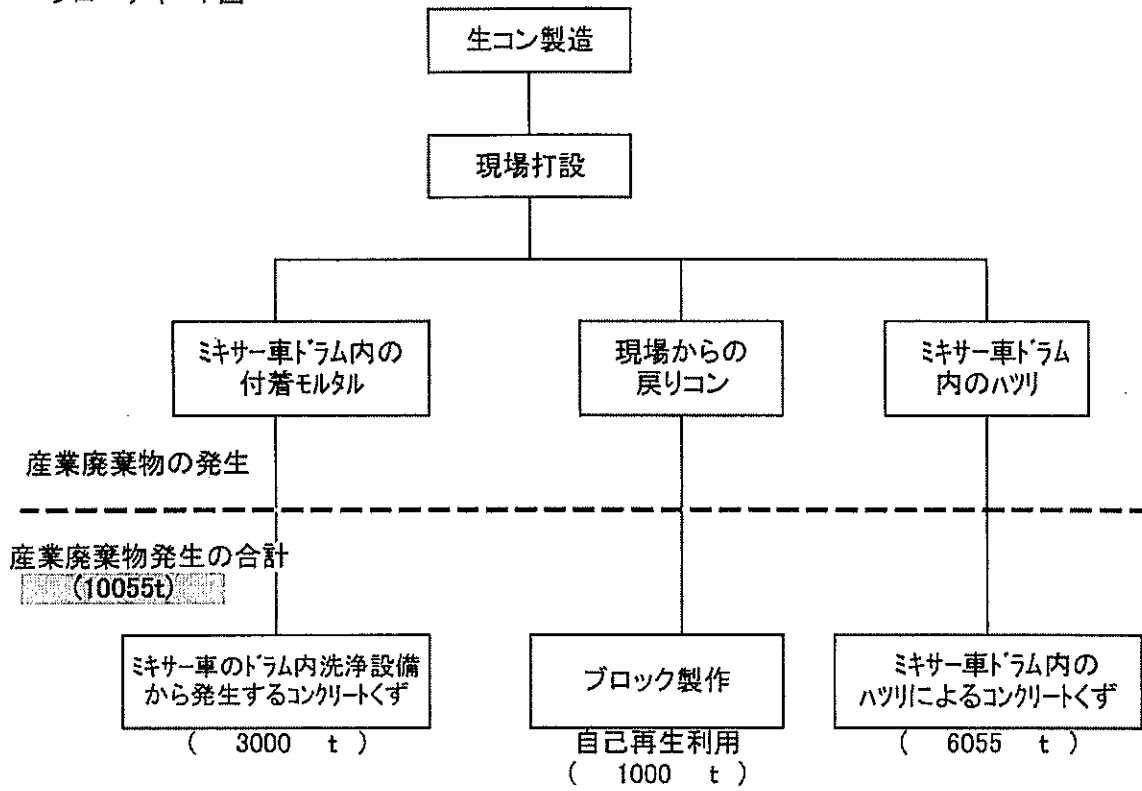
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山城生コンクリート工業 那覇工場
事業場の所在地	沖縄県那覇市字銘苅183番地
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	生コン製造業
②事業の規模	81,300 万円
③従業員数	32名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙資料1のとおり

【資料 1】

残コン・戻りコン及びスラッジの減量化と再利用の概要

フローチャート図



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
公害防止統括者 (代表取締役)		公害防止管理者 (工場長)	副公害防止管理者 (QC)
		設備保全担当 (製造係)	産廃処理担当 (試験係)
			事務担当 (出荷係)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2020年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
	排 出 量	10055 t	—
	(これまでに実施した取組) 戻りコン1000 t/年トンブロックに再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
	排 出 量	7743 t	—
	(今後実施する予定の取組) 戻りコン発生低減計画を立案してコンクリートくずを少なくする。 コンクリートくずにおいては前年度計画を継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	戻りコン	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1000 t	—
	(これまでに実施した取組) 戻りコンを再生利用してブロック製作を行った。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	戻りコン	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1000 t	—
	(今後実施する予定の取組) 戻りコン発生低減計画を立案して組織的に戻りコンの発生を抑制する事により減量計画を実施する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず ^a	—
	全処理委託量	9055 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用者への処理委託量	9055 t	0 t
	認定回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定資源回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
<p>コンクリートくずは再生路盤材の原料となる。 そのため、再生路盤材を製造している(株)山城砕石鉱業へ処理委託を行っている。</p>			

(第5面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	-
	全処理委託量	6714 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	6714 t	0 t
	認定回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	資源物回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>戻りコン発生低減計画を立案して組織的に戻りコンの発生を抑制する事により減量計画を実施する。(前年度計画継続)</p> <p>引き続き発生したコンクリートくずは(株)山城砕石鋳業へ路盤材原料として処理委託を行う。</p>		
※事務処理欄			